

とどけ、未来の仲間たちへ!  
子どもたちによる子どもたちのための音楽祭

第2回 エル・システマ

# 子ども音楽祭2016

## in 相馬



2016.2/13(土)・14(日)

両日  
とも

14:00開演  
13:30開場 16:00終演予定

入場無料  
全席自由

相馬市民会館

出演

福島県立相馬高等学校吹奏楽部  
福島県立相馬東高等学校吹奏楽部  
相馬子どもコーラス  
相馬子どもオーケストラ

特別出演:

コロンえりか(ソプラノ)

陶正彦(尺八)

伏見とみ子(謡)

友情出演:

相馬合唱団エスポワール

コーラス指揮:

コーラスピアノ伴奏:

古橋富士雄

山内知子

オーケストラ指揮:

浅岡洋平

2/13(土) プログラム

第一部: 吹奏楽

G.ヴェルディ 歌劇「アイダ」より第二幕第二場/B.ウィーラン「リヴァーダンス」/他

第二部: コーラス

1)ハンガリーの風(K.ゾルターン「三つのわらべうた」/E.カライ「夕暮れの歌」/他)

2)えりかさんと共に〜ソプラノのコロンえりかさんをお迎えて(E.コロン「被爆のマリア」/他)

3)ふるさとの温もり(ずいずいずっこぼし/相馬盆歌/相馬流れ山/他)

4)ほくの歌・わたしの歌(「ほら、教室は宇宙だ」)(作詞:金子満美子作曲:青島広志)/他)

2/14(日) プログラム

第一部: J.S.バッハ「ブランデンブルグ協奏曲第三番」BWV1048/ヘンデル「水上の音楽」第二組曲/  
L.アンダーソン「シンコペーテッド・クロック」/他

第二部: L.V.ベートーベン 交響曲第5番短調「運命」Op.67/相馬盆唄/  
W.A.モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K.618

主催:一般社団法人エル・システマジャパン/共催:相馬市、相馬市教育委員会

後援:福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社(申請中)/協賛:株式会社ヤマハミュージックジャパン/協力:オアシス楽器店

お問合わせ:一般社団法人エル・システマジャパン 03-6280-6624 mail: info@elsistemajapan.org http://elsistemajapan.org/children\_festival.html



平成27年度文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業  
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



相馬市





第2回 エル・システマ

# 子ども音楽祭2016 in 相馬



## 震災と原発事故から5年をむかえます

今年の3月で、東日本大震災から5年の月日が経ちます。被災地で音楽とともに成長し、難しい楽曲も含め多くの演奏・合唱を重ねてきた子どもたちのコンサートを、ぜひ多くの方々に分ち合いたいと思います。寒い季節ではありますが、どうぞみなさま、相馬へお越しいただければ幸いです。

## 地元での演奏会のあゆみ

相馬市内小学校部活動への支援を行いながら始まったエル・システマジャパンによる音楽教育。最初の大きな発表の場として、2013年2月に市内小学校(中村第一、桜丘、八幡)の子どもたちによる「合同演奏会」が市の総合福祉センターはまなす館にて開催されました。そしてその4月から始まる、市内すべての学校の児童・生徒に開かれた週末弦楽器教室の活動を元に、4~17歳、約90人の子どもたちで構成された相馬子どもオーケストラと、桜丘小学校合唱部に中学生OGが参加した相馬子どもコーラス(約45人)によって、「クリスマスコンサート」も再建されたばかりの市民会館で開かれました。どちらも参加する子どもたちの保護者や親族だけでなく、地元の音楽愛好家、市外からの支援者、指導ボランティアの若者らが多く参加しました。

2014年4月からは、コーラスも弦楽器教室同様、市内すべての

子どもに開かれ、エル・システマ活動も平成26年度文化庁地域発芸術文化創造イニシアチブ(文化芸術による心の復興:音楽による生きる力をはぐくむ事業)として市の事業となっています。市内で音楽に関心のある、より多くの子どもたちに開かれた、子どもによる子どものための音楽祭として「第1回エル・システマ子ども音楽祭2015 in 相馬」が、市民会館において2015年3月1日、市との共催事業として開催に至りました。東京の学生オーケストラ motif や市内の相馬合唱団エスポワールが参加し、総勢200人の「ハレルヤ」で盛況となりました。

## 取組みの幅を広げた

### エル・システマ子ども音楽祭2016 in 相馬

第2回目となる今回の音楽祭は市内の二つの高等学校の吹奏楽部が参加し、14日は、フルオーケストラでの演目をお届けできることになりました。また今回は、オーケストラ・合唱用に編曲された相馬民謡に子どもたちは積極的に取り組んでおり、相馬の豊かな民謡の伝統も反映させた内容としています。特別ゲストとしてお招きしたソプラノ歌手のコロンえりかさん(駐日ベネズエラ大使夫人)は、日頃よりベネズエラと相馬のかかわりを豊かにしてくださっていますが、今回はずっと大切にされてきた「被爆のマリア」を届けてくれます。

## 相馬子どもオーケストラ&コーラス

エル・システマジャパン設立から2ヶ月後の2012年5月、福島県相馬市との協力協定が締結し、相馬市での「音楽を通して生きる力を育む」事業が始まりました。子どもオーケストラとしての音楽活動を通して、子どもたちの心のケアを図ることを目的とし、地元根づいた活動を展開しています。エル・システマジャパンは、市内小学校における部活動、授業の支援を、楽器の購入・修繕、指導、演奏専門家の派遣、特別研修会の実施等の形で開始し、現在は週末を中心として行われる子どもオーケストラ&コーラスの活動として展開しています。2016年1月現在で、未就学児から高校生まで約150人(オーケストラ約80人、コーラス約70人)の子どもたちがそれぞれの目標に向かって活動しています。

## エル・システマジャパンとは

東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して、自信や自尊を回復し、自分の人生を切り開いていく「生きる力」を育むことを目的にエル・システマジャパンは活動を行っています。

エル・システマは、1975年に南米ベネズエラで始まり、現在では50以上の国・地域で活動が行われている教育プログラムです。貧困や治安の悪化という問題を抱えていたベネズエラで、子どもたちを犯罪や非行、暴力などから守ることを目的に始まりました。

希望する子ども家庭の事情にかかわらず、楽器を奏で、歌うことができること、そして、皆で参加するオーケストラの形で学んでいくことを重視しています。この開かれた芸術活動と教育理念が、東日本大震災によって厳しい状況にさらされ、特に、原発事故による影響を心身ともに受けている福島の子どもの自尊を回復し、希望を与えることができるの思いから、2012年3月、エル・システマジャパンは設立されました。

福島県相馬市で約30人から始まった週末音楽教室も、今ではコーラスとオーケストラで150人が参加するまでになりました。子どもたちがそれぞれが目標に向かって仲間と練習し、演奏している姿は周りの人も明るくしています。2014年5月には、2カ所目となる岩手県大槌町での活動が始まりました。音楽を通じて子どもたちが繋がり、子どもたちの音楽を通して地域が繋がる。エル・システマジャパンが目指しているのは音楽が人をつなぐ、地域を変える活動です。